



サルビア

令和4年2月2日 第104号

整理整頓について

～2月の全校集会で伝えたこと～

このところ、事務主事と校務支援員のお二人が職員室の整理整頓に取り組んでいます。具体的には古い書類を処分し、次年度に向けて棚に空きスペースを作るという作業です。「これはもういらぬですね。」「搬出するまでここを仮置き場にしましょう。」等、見事な連携プレーです。そんなお二人の姿を見て、2月の全校集会で次のような話をしました。

～一部抜粋～

今日の私の話は「整理整頓」についてです。「整理」という言葉と「整頓」という言葉に分けることができます。

「整理」とは必要な物、いらぬ物をわけ、いらぬ物は捨てるということです。最近では再利用することもあります。

「整頓」とは必要な物を取り出しやすい場所においておくことです。

整理整頓を心がければ、余計な物はなく、さがしたい物がすぐに出てくるということになります。**整理整頓をすればいいことがあります。**もちろん、気持ち良く過ごせるということもありますが、みなさんにある「力」がつくんです。

それは「**考えて、決める**」力です。「えっそれって算数とか国語とか学校の勉強でつける力なんじゃないの？」って思う人もいるかもしれません。ところが整理整頓をすることで学校の勉強と同じように考える力、決める力がつくんです。

○これはいるかな ○これは使うかな ○これはもういらぬかな ○これはどこに置こうかな
○ここに置けばすぐ使えるな

このように、**整理整頓は考えて決めることの連続**なんです。

身のまわりの整理整頓をすれば、考えて決める力がつきます。そうすると、今度は自分の頭の中の整理整頓も上手になります。答えにたどり着くまでの道筋が見つかりやすくなりますよ。私も毎日2、3分整理整頓しています。大人の私も練習しているんですよ。

さあ、まずは机の中をかたづけしてみましょうね。スッキリしたら勉強始めです。仕事も、勉強もはかどると思います。

気分スッキリ
考えて決める力もつく

まさに **一石二鳥、一挙両得**です。

